

地質情報

地質調査所
地質情報センター

今月号では、5月号以降紹介していない地質調査所月報の内容を紹介します。

地質調査所月報 第40巻 第11号

- 浦井 稔・宮崎芳徳・津 宏治：豊肥地熱地域の磁氣的構造…………… 589
- 地質調査所重力探査グループ：地質調査所重力補正標準手順 SPECG 1988について…………… 601
- 松本則夫・高橋 誠・北川源四郎：地震にともなう地下水位変動の定量的な検出法の開発—多変量線形回帰モデルの地下水位時系列への適用—…………… 613
- 後藤隼次・野間泰二：徳之島の河川水質組成と海塩の影響について…………… 625
- 第196回地質調査所研究発表会講演要旨（特集 レアメタル資源と鉱床探査）…………… 635

地質調査所月報 第40巻 第12号

- 鹿野和彦・柳沢幸夫：阿仁合型植物群及び台島型植物群の年代…………… 647
- 鈴木尉元・遠藤秀典・鈴木祐一郎：宮崎平野の最近の地殻変動…………… 655
- 柴田 賢・中島 隆・寒川 旭・内海 茂・青山秀喜：四国における中央構造線の断層ガウジの K-Ar 年代…………… 661
- 岸 和男・永井 茂・石井武政・安原正也：秩父市周辺小河川における比流量および水質と地質（岩種）との関係…………… 673

地質調査所月報 第41巻 第1号

- 柳沢幸夫：仙台層群の地質年代—珪藻化石層序による再検討—…………… 1
- Atsushi ANDO, Takashi OKAI, Yoshio INOUCHI, Toshio IGARASHI, Sadahisa SUDO, Katsumi MARUMO, Shiro ITOH and Shigeru TERASHIMA: Jlk-1, Jls-

1 and JDo-1, GSJ rock reference samples of the “Sedimentary rock series”……………27

地質調査所月報 第41巻 第2号

- Yoshio INOUCHI: Origin of sand and its distribution pattern in the Seto Inland Sea, Southwest Japan……………49
- 鈴木尉元・佐藤岱生・金子信行・影山邦夫・矢崎清貫：宮崎平野新富町の坑井の地質—宮崎層群の花崗岩質基盤—……………87
- 巖谷敏光：宮崎県尾鈴山酸性岩類の石英の転移温度……………93

地質調査所月報 第41巻 第3号

- Hirokazu KATO, Kan KATOH, Aykut BARKA and Ismail KUŞCU: Alpha track measurements for faults in northern Turkey……………99
- 柳沢幸夫：珪藻化石からみた北陸産タコブネ類化石の地質時代…………… 115
- 寺島 滋・岡井貴司・安藤 厚・伊藤司郎：地質調査所作製の岩石標準試料の均質性…………… 129
- 第197回地質調査所研究発表会講演要旨（特集 昭和63年度重点基礎研究成果報告）…………… 139

地質調査所月報 第41巻 第4号

- 寺島 滋・井内美郎・中尾征三・米谷 宏：諏訪湖底質中の重金属、有機炭素、硫黄、りん等14元素の地球化学的研究…………… 147
- 西澤 修・野呂春文：AE 発生時系列における自己励起型 AE 発生と AE 震源の空間分布との関係…………… 173
- 第198回地質調査所研究発表会講演要旨（特集 日本の地熱地帯の資源評価）…………… 185

地質調査所月報 第41巻 第5号

- Yukio YANAGISAWA and Fumio AKIBA: Taxonomy and phylogeny of the three marine diatom genera *Crucidentricula*, *Denticulopsis* and *Neodenticula*…………… 197

地質調査所月報 第41巻 第6号

- 吉田史郎：東海層群の層序と東海湖盆の古地理変遷…………… 303
- 金谷 弘・笹田政克：蔵王地域の地熱調査井 ZO-1・ZO-3の花崗岩類—元素分布から見た花崗岩類の不連続性と破碎帯—…………… 341

地質調査所月報 第41巻 第7号

- 磯部一洋：茨城県筑波山・加波山周辺の緩斜面堆積物の

形成について…………… 357
 Kazuhiko KANO: Note on the Late Cenozoic marine phosphatic rocks in Japan …………… 373
 金子信行・坂田 将・町原 勉: 新潟県見附油田コア試料及び原油中の生物指標化合物…………… 383
 須藤 茂・宇都浩三・内海 茂: 仙岩地熱地域南部, 乳頭・高倉火山群噴出物の K-Ar 年代 …………… 395
 第199回地質調査所研究発表会講演要旨 (特集 地球化学データの社会的利用) …………… 405

地質調査所月報 第41巻 第8号

柴田 賢・東原雅実・村中英寿: 中央構造線地域におけるフィンガープリント法調査…………… 419
 相原輝雄: 埼玉県南東部における沖積層と関東地震による家屋被害—旧出羽村付近の埋没地形と家屋被害—…………… 455
 第 200 回地質調査所研究発表会講演要旨…………… 469

地質調査所月報 第41巻 第9号

Nobuyuki TSUCHIYA: Middle Miocene back-arc rift magmatism of basalt in the NE Japan arc… 473
 安原正也・丸井敦尚・田中 正・石井武政: 筑波台地浅層部の土壌物理性と地下水鉛直流動—つくば市東にお

ける事例研究—…………… 507
 第 201 回地質調査所研究発表会講演要旨 (特集 海底熱水活動) …………… 517

地質調査所月報 第41巻 第10号

玉生志郎: 韓国済州島の火山岩の K-Ar 年代とその層序学的解釈…………… 527
 Takeshi KOMA and Yasumoto SUZUKI: On the chlorine content in the pore water from the central Niigata sedimentary basin …………… 539
 金井 豊・坂本 亨・安藤 厚: 茨城県北東部那珂台地における新生界堆積物の化学組成と元素分布…………… 551
 内海 茂・宇都浩三・柴田 賢: K-Ar 年代測定結果—3—地質調査所未公表資料…………… 567

地質調査所の出版物について

問い合わせ: 地質情報センター情報管理普及室

Tel. 0298-54-3601

購 入: 地質標本館

Tel. 0298-54-3750

東京地学協会

Tel. 03-261-0809

日本産業技術振興協会

Tel. 0298-52-3388

地学文献センター

Tel. 0423-84-6875

— 新 刊 紹 介 —

「いま地球の財産を診る」 番場猛夫 著

教育出版センター, 286ページ, 1,900円 (税込み)

本書は, 長年鉱物資源の調査研究に携わってきた著者が, その専門家としての視点から, 世界的に進行中の資源濫費の傾向に対し, 世に問うた「資源論」である。

第1章で地球について述べているが, 地球上の諸現象から現在の認識に至る過程を簡潔に整理した地学史概論となっている。第2章では鉱物資源の生成を扱い, 鉱床学の発達史, 研究手段から近年の研究成果にも触れている。第3章は鉱物資源の偏在とその探査活動を扱っているが, ここでは著者の専門であったクローム鉱床探査に力点があり, トルコ共和国での経験にも触れられている。この第2及び3章は, 著者の豊富な実践的調査研究に根ざした含蓄のある記述になっており, 読み物としても面白い。第4章は地球規模での鉱物資源の危機的状況について問題点を指摘し, 終章でこれを纏め, 人類の存亡に係わる問題としての対処の方向が著者の主張として述べられている。

本書は, 平易な表現で書かれていて読みやすく, 一般むけ普及書としても良いが, 大学生の一般教養向け読本として最適であろう。文中の専門用語については, 欄外に読みやすい形で解説が加えられ, 引用された文献の主なものについては, 巻末に整理されており, より詳細な学習に対して親切な配慮がなされている。

しかし, 本書の特徴は地球科学の広い分野の問題のポイントを要領良く抽出し, これを学問の発達過程に位置付けて解説していることで, これは, 専門家にとっても, 自らをブラッシュアップするのに又とない適書となっていることにある。更に, 地球規模で資源問題を考える時, 今, 何が必要とされているのかを訴える警世の書ともなっている点は類書に見られない特徴であろう。

なお, 本書の表紙を飾る色刷り写真のオブジェは, 地質調査所の100周年記念に作られたものであり, 元所員である著者の強い希望で使用されることになったとのことである。また, 講入しやすい価格の設定は, 若い人達に対する著者と出版社の配慮でもあろうか。

(地質調査所北海道支所 岡部賢二)